



小学校6年生を対象に全国学力・学習状況調査が、4・5年生を対象にみえスタディチェックが実施されました。今年度の分析結果と今後の取り組みについてお知らせします。学校と家庭が本調査の結果を共有することで、2学期以降の子どもたちの更なる学力の向上に向けて、共に取り組んでいけたらと考えています。

全国学力・学習状況調査の結果（6年生）

1 調査全体を通して

国語の正答率は、全国平均・県平均と同程度であった。算数の正答率は、全国平均・県平均をやや上回っていた。6年生として求められる学力はしっかりと身につけていると考える。

2 各教科の状況（以下、○良かった点 △課題）

(1) 国語

○読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができるかどうかをみる問題の正答率は高かった。

○文の中における主語と述語の関係を捉えることができるかどうかをみる問題の正答率は高かった。

○「なげる」を「投げる」と表記する問題の正答率は高かった。

△資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率は低かった。

△目的や意図に応じて、集めた資料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題の正答率は低かった。

△目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率は低かった。



(2) 算数

○球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題では、正答率が高かった。

○角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題では、正答率が高かった。

○除数が小数である場合の除法の計算をすることができるかどうかをみる問題では、正答率が高かった。

○除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解しているかどうかをみる問題では、正答率が高かった。

△簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる問題では、正答率が低かった。

3 学習や生活の状況「児童質問紙」から

○「朝食を毎日食べている」と回答した割合が高い。

○「人の役に立つ人間になりたい」と回答した割合が高い。

○平日に、テレビゲーム（PC、携帯式ゲーム、携帯スマートフォンを使ったゲームを含む）に費やしている時間が短い。

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という問いに、肯定的に回答した割合が高い。



- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」という問いに、肯定的に回答した割合が高い。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いに、肯定的に回答した割合が高い。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」という問いに、肯定的に回答した割合が高い。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という問いに、肯定的に回答した割合が高い。
- △ 平日に、家庭で勉強している時間が短い。
- △「英語の授業は好きですか。授業の内容はよく分かりますか」という問いに、肯定的に答えた割合が低い。

みえスタディチェックの結果（4・5年生）

1 調査全体を通して

4年生では、国語は市平均と同程度、算数は市平均をかなり上回った。5年生では、国語は市平均と同程度、算数は市平均をやや上回り、理科は市平均をかなり上回った。

2 各学年の状況

【4年生】

- 概ね漢字を正しく書くことができている。
- △発言に共通している工夫を捉えることができるかどうかをみる問題に弱みが見られた。
- 四則計算や時間、棒グラフの理解について強みがある。
- △二等辺三角形の定義や性質について理解しているかどうかをみる問題に弱みが見られた。

【5年生】

- 文の中における修飾と非修飾との関係を正しく捉えることができている。
- △日常使われている簡単な単語をローマ字で書くことについて弱みが見られた。
- 重さや角の大きさ、棒グラフの理解について強みがある。
- △基準量と比較量から倍を求める場面に除法を用いることを理解し計算できるかどうかをみる問題に弱みが見られた。
- エネルギー・粒子・生命・地球の理科4領域全般にわたって、概ね正しく理解ができている。
- △データを基に分析したり、実験結果を基に考察したことを日常生活に結び付けて考えたりすることについては、弱みが見られた。

今後の取り組み

- ・キーワード、字数の範囲を決めて、振り返り・まとめを書かせる。
- ・授業の中で、書いたものを交流する活動を行ったり、良いところだけでなく改善点を助言する活動を行ったりする。
- ・あえて不必要な情報も含んだ多くの情報の中から、必要な情報だけを選ばせるような場面を取り入れる。
- ・四則計算以外の、図形やグラフ、統計などの問題にも数多く取り組ませる。
- ・長文から読み取り自分の言葉で主張を書く、言葉と数を使って理由を説明するなどの問題に数多く取り組ませる。
- ・思考ツールを活用する授業を行うことで、論理的思考力を育てる。
- ・3年生以上は、ローマ字入力タイピングソフトに積極的に取り組む。
- ・3年生以上が取り組んでいる自主学習ノートのよい事例を紹介することで意欲の向上を図る。

以上のことに重点を置いて授業改善に取り組んでいこうと、職員間で確認しました。また、ご家庭におかれましては、児童が早寝・早起きをして一日のスタートが気持ちよく切れるように、就寝時刻やスマホ等の使用時間について把握していただくようお願いします。

